
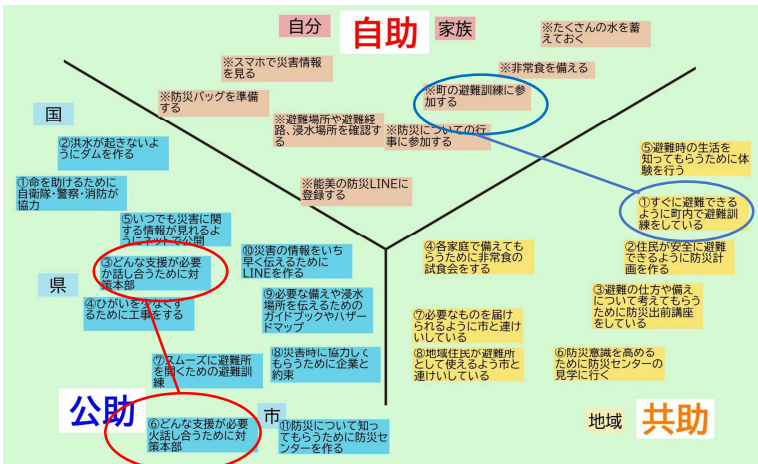
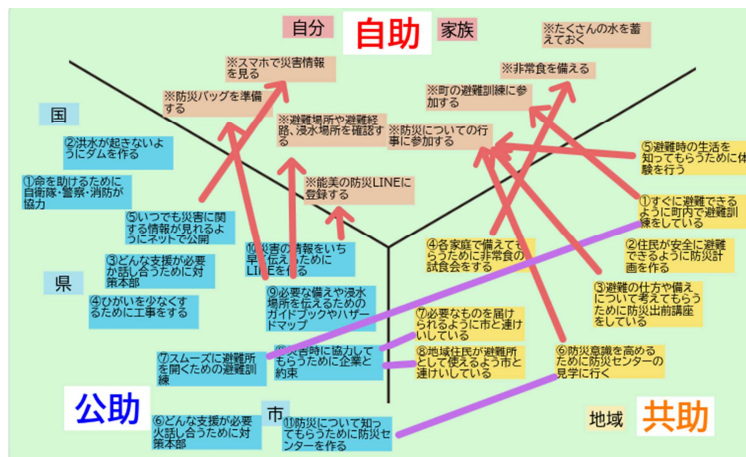


社会科単元デザイン			
単元名		日 時	11月21日 4限
風水害からくらしを守る		学年組	4年3組【教室】
		授業者	荒川 輝
1 単元の目標と評価規準			
知識及び技能		思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめて、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解するとともに、主体的に学習問題を追及・解決し、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 過去に発生した地域の自然災害関係機関の協力などについて関係者からの聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。</p> <p>② 調べたことを年表や図表、文などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。</p>		<p>① 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現している。</p> <p>② 災害から人々を守る活動と人々の生活を関連付けて、その働きを考えたり、学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、適切に表現している。</p>	<p>① 自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追及し、解決しようとしている。</p> <p>② 学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えようとしている。</p>
2 単元における「パフォーマンス課題」と「期待する子どもの姿」			
<p>【パフォーマンス課題】</p> <p>・風水害へのそなえについて、学習したことと関連づけて、自分にできることを「防災マイプラン」としてまとめる。</p> <p>【期待する子どもの姿】</p> <p>・活動と自分たちの生活を関連づけて、災害から人々を守る活動のはたらきを考える姿。</p> <p>・学習して分かったこと（公助・共助・自助）を関連付けながら、自助の大切さに気付き、防災について自分たちにできること（自助）を考え、実行しようとする姿。</p>			<p>成果物モデル</p> 
3 指導にあたって			
(1) 既習の内容		(3) 指導の工夫	
<p><3年「地域の安全を守る」></p> <p>・火災・事故への対処と防止、関係諸機関や地域の人々の諸活動について理解する。</p>		<p>【見方・考え方】</p> <p><input type="checkbox"/> 国・県・市・地域がそれぞれどのような対策をしているのかを調べ、それらを関連付けることで、共通する思いを捉えることができるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 調べたことと結び付けて、自助について見つめ直し、自分たちができることを考えることができるようにする。</p> <p>【対話の活性化】</p> <p><input type="checkbox"/> 三助の「つながり」を視点としてYチャートに図化し、どのように関係しているかをセレクト学習を通して他者に言語化させていく。</p> <p><input type="checkbox"/> 学習支援アプリを活用し、Yチャートを他者参照できるようにすることで、自分や友達の足りないところや優れたところを積極的に見つけて、考えを深めていくことができるようにする。</p>	
(2) 児童の実態		<p>【教師の見取り】</p> <p><input type="checkbox"/> 机間支援やクラウドでの見取りから、学習が進んでいない児童を支援したり、児童同士を繋げたりする働きかけを行う。</p> <p><input type="checkbox"/> Yチャートへの書き込みを見取り、よい気付きを取り上げて全体に広め、児童の思考を促す。</p>	
<p>○今年8月の豪雨や、昨今各地でおこる豪雨による水害の影響で、水害に対しての関心は大きい。</p> <p>○学習して得た知識については、スライド等に表現することができる。</p> <p>△資料から必要な情報を見つけたり、複数の資料を関連付けて考えたりすることが難しい児童が多い。</p>			

4 単元の指導と評価の計画（全9時間）		
時間	学習課題(◆)と主な学習活動(○)	評価の観点【 】評価規準(・)
1	<p>◆石川県では、どのような災害があったのかな？</p> <p>○自然災害がどのような被害をもたらすのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震→建物の倒壊、停電など ・台風→倒木、停電など ・大雨→洪水、浸水など ・雪害→道路が使えなくなるなど <p>○石川県で過去に起こった自然災害について、災害年表やインターネットを使って調べ、地図にまとめる。</p>	
Point!	<p>・県内に多い自然災害の特徴や、どのような被害をもたらしたのかを捉え、学習への関心を高める。</p> <p>➢自然災害の原因そのものは無くせないが、被害を減らすことはできることに気付かせる。</p>	
2	<p>◆風水害からくらしを守る人々の働きについて考え、学習問題を作ろう</p> <p>○洪水や浸水の被害の様子を確認し、救助活動や対策本部の様子をみて、色々な人が関わっていることを知り、学習問題を作る。</p> <p>・被害の様子から、生活にどのような影響が出るのかを考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>風水害からくらしを守るために、だれがどのような取り組みをしているのかな？</p> </div>	<p>情活【思判表】BI①a</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現】ノート・発言</p> <p>・「水害からくらしを守る人々の働き」について学習問題をつくり、それに対する予想をや学習の見通しをもっている。</p> </div>
Point!	<p>➢発災後の様々な人の働きについて気づくことができるようにし、学習問題へとつなぐ。</p>	
3	<p>◆水害に対する取り組みにはどのようなものがあるのかな？</p> <p>○教科書を例に、水害に対する備えを挙げ、「自助」「公助」「共助」に分けられることを知る。</p> <p>○教科書の例意外に、水害に対してどのような取り組みがあるのかを考える。</p>	<p>情活【思判表】A2①d</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【知識・技能】発言・ノート</p> <p>・地震に対する取り組みを知り、自助公助共助に分類されていることを理解する。</p> </div>
Point!	<p>➢「公助」「共助」「自助」という言葉の意味とそのまとまりを捉えられるようにする。</p>	
4 ～ 6	<p>◆公助・共助・自助について、どのような取り組みをしているのかな？</p> <p>○公助・共助・自助について調べて、Yチャートでそれぞれがどのような取り組みを行っているかをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公助には県や市が関わっている。 ・共助には住んでいる地域の人々との協力が関わっている。 ・自助について、現時点での備えをインタビュー調査する。 	<p>情活【思判表】BI①c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【知識及び技能】スライド・発言</p> <p>・過去に発生した地域の自然災害関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動について、その働きをまとめている。</p> </div>
Point!	<p>➢資料から読み取れることを「取組」と「目的」という視点で整理する。</p>	
7 本 時	<p>◆自助・公助・共助のつながりを見つけよう</p> <p>○それぞれの取り組みどうしのつながりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公助では、減災を目的とした取り組みをしていること ・共助では、協力して災害を乗り越えられるように訓練などを行っていること ・公助も共助も防災意識を高める取組をしていること ・公助にも共助にも、自助に働きかける取組が多いこと ・自助の取組には各家庭によって差があり、公助や共助の支援を十分にいかせていないこと 	<p>情活【思判表】BI①c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現】スライド・発言</p> <p>・三助について調べ、それぞれのもつ役割について考えるとともに、自助にどのように関わっているかを考えている。</p> </div>
Point!	<p>➢それぞれの取り組みの共通点や、各機関の連携、自助への働きかけに気付くことができるようにする。</p>	

8	◆自分たちにできることは何かな。	情活【思判表】BI①c
9	○「わたしたちにできること」を考え共有する。 ○これまでの学びを「防災マイプラン」にまとめる。 ①「公助」「共助」「自助」の取組についてまとめる ②三助のつながりについてまとめる ③私たちにできること(自助)についてまとめる ★国語科の単元「もしものときにそなえよう」の中で、家族に伝えたい「自助」の取組について考える。	<div>【思考・判断・表現】スライド・発言 ・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現している。</div> <div>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート・行動観察 学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えようとしている。</div>
	Point! ➢「公助・共助・自助」の取組、取組のつながりから見えてきたこと、現在の自分の家庭の自助に関連づけて、自分たちの「自助」を見つめなおし、マイプラン(わたしたちにできること)を作成する。	
5. 本時の学習		
(1)ねらい ・三助についてまとめ、それぞれのつながりを考えるとともに、自助にどのように関わっているかを考えることができる。 【思・判・表】		
(2)評価規準 ・三助についてまとめ、それぞれのつながりを考えるとともに、自助にどのように関わっているかを考えている。 【思・判・表】		
(3)準備 ・クロームブック		
(4)展開		
過程	主な学習活動 ○発問・児童の主な意識の流れ	・留意点★支援 ICT 活用 の目的 評価【観点:方法】[研究の視点]
つか か お 5 分	1.ふりかえりと本時の課題の設定 ○三助にはそれぞれ、どのような取組がありましたか。 ・被害を小さくするために川幅広げていたね。 ・すぐ避難できるように避難訓練をしているね。 ・どのような対策をするか相談するために対策本部を作っていたね。 ・安否の確認ができるように家族でどここの避難所に行くか話し合うんだよね。など	・前時に作成したYチャートを提示して、簡単に確認する。
＜それぞれの取組のつながりを考えよう＞		
考 え る ・ 深 め る 35 分	2.それぞれの取組のつながりを見つける。《セレクト学習》 ○「公助」「共助」「自助」にはどんなつながりがあるかな。(20) 	・どういふものを「つながり」と見る ことができるかを一斉指導で確認 する。 ・それぞれの取組相互の協力や支 援など「つながり」と見ることで そんな思考の手がかりを板書に残 す。 [①見方] 各取組みがどのようなつながり があるのかを考えを線でつなぐこと で「つながり」を捉える。 [②対話] 学習支援アプリ上で他者参照で きるようしておくことで、誰に話 を聞きに行くか決められるように する。 [③見取り] 児童同士を繋いだり、他者参照を 効果的に促したりする。 (情活)【思考・判断・表現】BI①c 表現方法を相手に合わせて選択し、 相手や目的に応じ、自他の情報を 組み合わせる適切に表現する。
	・県にも市にも対策本部ができるんだね。県と市が協力は「つながり」だね。協力することで、救助や必要な支援が早く届くんじゃないかな。 ・地域が避難訓練を行っているのは、私たちがいざというときに安全に避難できるようにするためだ。これも「つながり」と見ることができるね。	

3. 三助のつながりについて、全体共有する(15)



○どのようなつながりがありましたか。

- ・公助には被害を少なくするような取り組みが多いよ。
- ・対策本部は県にも市にもあるよ。県と市が協力して話しているんだね。
- ・市と地域が協力して避難所を運営しているね。
- ・ハザードマップがあるおかげで、浸水範囲が確認できるね。
- ・防災ハンドブックがあるから、どんな備えが必要かが分かるね。
- ・避難訓練があるおかげで、安全な避難経路がわかるね。
- ・わたしたちが自助のそなえができるのは、公助や共助の取組の情報があるからだね。
- ・公助にも共助にも防災意識を高める目的の取組があるよ。
- ・わたしたちの「自助」につながっているものが多いね。

**「公助」と「共助」が協力して防災に取り組んでいる。
「自助」にはたらきかける取り組みが多く、公助・共助・自助がつながることで、風水害の被害を少なくすることができる。**

○みんなの見つけたつながりを見て、気づくことはありますか。

- ・公助と共助が協力して行っていることが多い。
- ・自助の方に向かって、たくさん矢印がのびているよ。
- ・公助と共助が協力して、自助を呼びかけているね。

- ・黒板に提示したものに児童が見つけたつながりを矢印や線で書き込むことで、視覚的に自助を促していることに気づくよう促す。
- ・取組の目的に焦点を当てることで、共通点やその対象に気付かせ、つながりに気付くことができるようにする。
- ・黒板や電子黒板を児童に開放し、協働の中で「つながり」をアウトプットしながら、思考を深められるようにする。

【思考・判断・表現：発言・スライド】
公助や共助について調べ、それぞれのもつ役割について考えるとともに、自助にどのように関わっているかを考えている。

☆協働場面や個別のやりとりの中で、「何のためにしているのか」「だれのためにしているのか」を問い、共通点を見つけられるようにする。

- ・自助が大切であるということに気づけるような発言を拾い、全体共有していく。
- ・自分の家の自助がたりているのか振り返るような声かけをする。
- ・自助の取組には家庭により差があることに気付かせ、次時の学習につなぐ。

振り返る5分

5. 学習のふりかえりを行い、次時の見通しをもつ

○今日の学習でどんなことが分かりましたか。

- ・たくさんの方が協力し合って防災の取り組みをしているということ分かった。
- ・公助や共助には色々なものがあったけど、やっぱり自助が大切なんだということが分かった。

○次回は自分たちにどのようなことができるかを考えて、防災マイプランを作っていきます。

- ・公助や共助にこたえられるようにしていきたいな。
- ・もう一度自分の家の自助の実態を調べたいな。
- ・ガイドブックやハザードマップは家にあるかな。確認してみたいな。

- ・ふりかえりを書くことで、本時の学びを自覚化し、深い学びにつなげる。
- ・学習ステップシート(Google スプレッドシート)を使って、本時の学びを共有できるようにする。

【資料のリンク】

https://drive.google.com/drive/folders/153tIAesHVK_6M4wFaRXhI9A-Wmqqq_IEU?usp=drive_link